

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年11月26日
タイトル	みんなで給食米を刈ったよ！2018
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年10月9日（火）福山市立東村小学校全児童44名、福山市立東村保育所児童18名、2年後に学校再編が予定されている福山市立今津小学校3年生60名が、学校給食食材納入グループ「若草会」の学校農園約20aのほ場で、給食で食べるお米の稲刈りをしました。

東村保育所全児童のうち5歳児の子どもが一番乗りで稲刈りをしました。小学校の稲刈りの前に若草会の方に丁寧に指導していただいたので「ザッ、ザッ」と音をたてて刈れるようになり、あっという間に上手になっていっぱい稲刈りをしました。

3、4歳児は稲刈りの応援や稲穂から籾を取り小さな爪で皮を剥いで米を取り出していました。刈った稲を束にもらい小さなはぎ掛けにしました。



すぐに鎌を上手に使いたくさん刈りました！



みんなで協力してかかしの間にはぎ掛け！

今年の稲刈りから再来年に学校再編する今津小学校の3年生と一緒に稲刈りすることになり、東村小学校全児童44名と今津小学校3年生60名と一緒に東村小学校から歩いてきました。天気がよく絶好の稲刈り日和で、日差しが強くなり汗ばむ陽気となりました。ほ場に到着すると、全員で整列し元気一杯挨拶し楽しみにしていた稲刈りの始まりです。

まず、学校給食食材納入グループ「若草会」代表の杉原直道さんより「7月の豪雨災害、8月の猛暑、9月の台風も乗り越えてみんなの米がよくできました。」と言われました。

子どもを代表して東村小学校からは「若草会のみなさんが田作りや水の管理をして稲を育ててくださり、ありがとうございました。今日は今津小学校のみんなと稲刈りができるとワクワクしています。」今津小学校からは「東村小学校の稲刈りに参加できてうれしいです。」と挨拶がありました。



いよいよ稲刈りです。東村小学校の全学年が横一列に並び、今津小学校の児童は、初めて稲刈りする子が多いため5人ずつ交代で若草会や地域の方に教えていただきながら稲刈りをしました。

東村小学校の子は慣れた手つきで、ザクザクと小気味よく刈っていきます。低学年は最初はぎこちない手つきでしたが、すぐに上手になっていきました。

今津小学校の子は一人3株刈ります。最初の一株目はぎこちない手つきでしたが二株目には上手に刈れました。「初めての稲刈りは、最初は難しかったけど二つ目からは楽しかった。もっと稲刈りしたいです。」と元気一杯でした。子ども達が真剣に稲刈りをし、ふざけたりケンカしたりしないのでケガもしないし上達するのもすごく早いのだと思いました。



はぎ掛けにする土台は竹を3本縄で縛ったものでこの3本足を稲の株の上にし沈まないようにすると倒れにくいそうです。最近では、はぎ掛けにすることが少なく農業体験が伝承の場になっていると思いました。みんなで稲を運んで掛けたのであつと言う間に終わりました。

はぎ掛けが終わるとコンバインの登場です。みんなで苦勞して刈った量と同じくらいの面積をあつと言う間に刈りました。

杉原代表から「みんながやった稲刈りは50年前と同じ天日で干して乾燥した後に脱穀しますが、最新の稲刈りはコンバインで刈ると同時に脱穀して出てきます。この後乾燥させます。」と説明してくださいました。

稲刈りを終わると今津小学校の校長先生より「再来年には東村と今津の2つの小学校が再編されます。一緒になることは学区が広がる、色んなことが広がることです。今津の子ども達は、この東村の土や稲のにおい、感触を今津に持って帰ります。」と話され、東村小学校の校長先生より「若草会をはじめ地域の皆様に感謝します。来年もここで皆さんと田植えができるといいなと思います。」と話されました。

東村小学校、今津小学校の子ども達が大きな声で一斉に「ありがとうございました。」と挨拶をして稲刈りは終わりました。収穫した米は東村小学校と今津小学校に納入され給食で食べられるそうです。

学校再編に向けて、2つの小学校が交流を重ねておられます。この農業体験で子ども達がより打ち解けあうことができたと思います。

東村小学校では、収穫した米を使って子ども達が調理実習をし若草会や地域の方を招いて「収穫祭」をするそうです。ぜひ取材したいと思います。